

平成29年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
	人間関係論 Theory of Human Relationship	竹重 幸	基礎	2	選択	2年 後期
科目の概要						
人は相互に理解し、協力し、影響しながら生活しているが、そこで学び、傷つき、成長していく。人はひとりでは生きていけないことから、この相互交流のなかで生じる社会生活のなかで、多様な価値観をもつ人々と関係性を構築していくかということテーマとする。人間の多様性を理解し、さまざまな場面や組織のなかでの人間関係を構築できる思考や、人間関係のトラブルやストレスに対して解決・レジリエンス能力を養成する。						
学修内容			到達目標			
① 人間関係の心理に関する基礎的事項について学ぶ。 ② カウンセリング理論および技法について学ぶ。 ③ 青年期の諸問題とその対応について学ぶ。 ④ 多様な場面での人間関係を築く大切さを知る。 ⑤ 人間関係のトラブルについて解決能力を養成する。			① 人間関係の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ② カウンセリング理論および技法を説明することができる。 ③ 青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④ 自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤ 人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身につける			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	技術(学習)の修得のために自ら練習をすることができる。				
	働きかけ力	助けてほしいときに素直に他者に求めることができる。および助けることができる。				
	実行力	期限内に最後までやり遂げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつ習慣をもつことができる。				
	計画力	常に期限内に課題を完成させる習慣を身につけることができる。				
	創造力	オリジナリティな思考(発想)をもち、多角的なものの見かたができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく伝えることができる。				
	傾聴力	人の意見を聞くことができる。				
	柔軟性	多様性を理解できること。つまり、異なる意見や価値観に対応することができる。				
	状況把握力	自己の課題遂行のみではなく、他者性になることができ、協同作業を円滑に進めることができる。				
	規律性	集団のルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	ストレスに対する抵抗するすべを自分なりに発見することができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:ピアヘルパーハンドブック 日本教育カウンセラー協会編 図書文化社 参考文献は学生の状況を見てそのつど判断する。						
他科目との関連、資格との関連						
資格との関連:ピアヘルパー						
学修上の助言			受講生とのルール			
予習・振り返りを忘れない。(確認する) 1 講義につきひとつは、問題意識と修得したことを持って帰ることを意識してください。			欠席をしないこと。 受講すると決めるならば最後まで参加することが大切です。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①	✓	①人間関係の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ②カウンセリング理論および技法を説明することができる ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身に着ける。 以上を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	30	①	✓	グループワークへの取り組みを評価する。 ②出席をすること。 ③6回以上の欠席は0判定となる。 (主体性) ④技術(学習)の修得のために自ら練習をすることができる。 (実行力) 期限内に最後までやり遂げることができる。 (課題発見力) ⑤ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつ習慣をもつことができる。 (創造力) オリジナリティな思考(発想)をもち多角的なもの見かたができる。 (発信力) 聞き手にわかりやすく伝えることができる。 (傾聴力) 人の意見を聞くことができる。 (規律性) ⑤集団のルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
その他	30	①	✓	予習課題および振り返り課題を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
①人間関係の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ②カウンセリング理論および技法を説明することができる ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身に着ける これらが8割以上理解できている。	①人間関係の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ②カウンセリング理論および技法を説明することができる ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身に着ける これらが7割以上理解できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 自分を理解する①	講義 グループワーク	自己概念・自尊心について理解することができる。	授業内容を振り返る	90	課題発 見力 発信力 傾聴力
2週 /	自分を理解する②	講義 グループワーク	自己分析について、自分の こころの働きに気づくことが できる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力
3週 /	自分を理解する③	講義 グループワーク	現実と理想の自己評価から 自己イメージをとらえることが できる。多様な価値観を知 る。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力
4週 /	発達障害についての理 解	講義 グループワーク	人間の多様性や障害につい て理解することができる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力
5週 /	社会不適合①	講義 グループワーク	対人認知・認知の歪みを理 解する。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力
6週 /	社会不適合②	講義 グループワーク	対人不安とそのレジリエンス について理解することができ る。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力
7週 /	社会不適合③	講義 グループワーク	ストレスコーピングについて 理解することができる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力
8週 /	対人行動①	講義 グループワーク	対人認知と認知の歪みにつ いて理解することができる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発 見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	対人行動②	講義 グループワーク	人に対する好き嫌いの感情がどのように形成されるのかを理解できる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
10週 /	対人行動③	講義 グループワーク	異性とのつきあい、友人との関係において心理や行動を理解できる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
11週 /	社会のなかの関係性①	講義 グループワーク	学校において望ましい人間関係について理解することができる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
12週 /	社会のなかの関係性②	講義 グループワーク	家庭や地域社会において望ましい人間関係について理解できる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
13週 /	社会のなかの関係性③	講義 グループワーク	職場や社会において望ましい人間関係について理解することができる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
14週 /	対人援助とは何か	講義 グループワーク	援助行動を起こす心理や援助を受ける側の心理について理解できる。	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
15週 /	感情のコントロールとトラブルの克服	講義 グループワーク	難しい人とのつきあいかたと非社会的、反社会的行動について理解できる	授業内容の予習をする。 授業内容を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力